

中国語圏セメスタ－留学便り（引率教員版）

十月

中国に来てから、早くも二ヶ月経ちました。10月の出来事と学生たちの様子をお伝えします。学生版と併せて、ご覧ください。

なお、本学HP「取材日誌」にも写真付きの記事が掲載されているので、ご参照下さい。

<http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/diary111005.html>

<http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/diary111014.html>

<http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/diary111021.html>

<http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/diary111028.html>

【国慶節の休暇】

10月1日は国慶節（建国記念日）で祝日ですが、多くの職場や学校では一週間ほどの連休となります。中国版ゴールデンウィークです。南開大学漢語言文化学院では、1日から9日までの九連休となりました。（南開大学の他の学部は8日・9日に振り替え授業を行っていました。）

この連休中、4日から6日はセメスタ－留学参加学生全員で北京旅行に出かけました。

4日 天壇公園・頤和園

5日 万里の長城・天安門広場・故宮博物院・王府井

6日 中国茶体験・前門大街・国家体育場（鳥の巣・水立方）

今年は前年よりも観光客が多かったという国内報道の通り、どこも観光客でいっぱいでした。とくに頤和園は長廊などの通路が狭く、園内は人で渋滞していました。

中国に来てから一ヶ月経ったところに九連休となりましたが、勉強に励んだり、街へ繰り出したり、目一杯活用している学生もいれば、長すぎる休みを持って余している学生も見受けられました。

【課外活動】

14日（金） 漢語言文化学院の企画で、他クラスの留学生たちと100人ほどの団体に天津1日観光に出かけました。バスの車窓から、天津市内の新旧の見所（旧租界、橋梁、市内で最も高いオフィスビルなど）を眺め、またイタリア風情区（旧イタリア租界）や古文化街を散策し、天津規劃展覽館（都市計画などに関する展示館）と磁器の家（骨董陶磁器の破片などで装飾された建築）を参観しました。

普段は國學院大學の学生のみで学んでいるため、他の留学生と接する機会はあまりありません。他国からの留学生の中国語に接して、そのレベルに感心した学生も多く、よい刺激になったようです。

15日(土) 國學院大學の当初からの企画で、天津市郊外の農村見学に出かけました。バスで一時間半ほどの農村を訪れ、四班に分かれて農村の家庭で昼食をごちそうになりました。

前日の天津観光は直前に決まったために想定外の連日の行事となり、やや疲れたようです。

北京、天津市内、農村といずれも貸し切りのバスで移動しましたが、車内では始めはにぎやかにおしゃべりしていても、気がつくといほとんどの学生が寝ています。大学に入ると修学旅行や遠足のような行事はなく、久々の経験を楽しんだのではないのでしょうか。

28日(金) 留学生中国歌謡大会。國學院大學からは二組(十一名)が参加しました。参加希望者が多いというので事前に予選が行われましたが、その当日に知らされて、慌てて歌の練習をした学生が多くいました。直前に予定が判明したり変更になったりするの、こちらに来てから経験済みのことですが、このカラオケ大会に関してはけっこう振り回されたようです。女子グループは結局、二回も歌が変更になりました。

それでも、みな前向きに、せっかくだから楽しもうという気持ちで本番に望んでいました。本番では拍手喝采、終了後は皆いい笑顔で、よい思い出になりました。

【学修面】

18日(火)には試験が行われました。担当教員によると、最初の試験なので簡単とのことですが、何人か不合格者も出ました。彼らは補講を受けた上で追試を受けます。学修をややおろそかにしていた学生も、さすがに真剣に勉強するようになったようです。今後の努力が期待されます。

こちらでの学修予定期間の半分を過ぎ、進歩を実感している学生もいれば、思ったより伸びずに焦っている学生もいます。自分の苦手な部分を克服できるように努力するしかありません。あと二ヶ月ありますから、焦りすぎずに地道に学修を続けて欲しいと思います。

【その他】

前述の試験の結果を承けて、全員を対象とした個人面談を行いました。学修・生活など留学全般にわたる状況を尋ねましたが、おおむね順調なようです。

セメスター留学の制度設計上、どうしても日本人とい時間が増えてしまい、日本語を使わない日はほとんどありません。できるだけ語学パートナーや中国人の知人友人を

作って、中国語に触れる機会を増やし欲しいものです。毎週定期的に語学パートナーと勉強をし、休日は一緒に街に出かけている学生もいます。

一方では、留学に来る前は話したこともなかった学生と親密になることもできます。また、こちらに来て活発になったと言われている学生もいます。

学生各自が、留学生生活を充実したものにするために色々と考え、そして行動しています。

(2011年11月1日 引率者・佐川 記)